

受注後生産

スクリーンインキ

反応型インキ

一般印刷 | 二液反応型

HIPET (MOF) インキ 9300シリーズ

ポリエステルフィルムやポリカーボネートへの印刷用に開発したウレタン系の高性能二液反応型スクリーンインキです。

また、HIPETインキ9300シリーズでは、フランス鉱物油規制に該当するMOAH、MOSHやPFAS規制に該当する成分を含有していましたが、HIPET (MOF) インキ9300シリーズではこれらの規制物質を含有していません。

製品の特長

- 硬化皮膜は柔軟性があり、かつ強靱で耐熱性に優れています。
- 熱絞り加工やインサート成形用の印刷に適します。
- MAOH、MOSHを含まないため、フランス鉱物油規制に対応しています。
- PFAS規制に対応しています。

特性

可撓性

強靱な硬化皮膜

柔軟性

接着性

耐性

耐熱性

推奨被印刷物

材質

ポリカーボネート [PC]

PETフィルム

PET計器

PET銘板

処理PETフィルム

エンジニアリングプラスチック

PBT

金属、ガラス、セラミック、ハードコート処理面

金属素地

アルミ

最終製品

銘板

後加工・二次加工

インサート成形

熱絞り加工

仕上り・質感・見た目の効果

仕上り

グロス

カラー・グレード

標準色（一般色）

00HLメジウム	01HL白	05金赤	08HL赤	13青黄	14赤黄	16HLピンク	18紅	25紫	28オレンジ
45HL濃藍	46HL藍	75グリーン	90HL黒						

スペック

荷姿

1kg金属缶

使用方法

- 次の比率で、インキ、硬化剤および硬化促進剤を配合し、テトロン（MOF）溶剤（速乾、標準、遅乾）またはPETリターダーで希釈し印刷します。
 - インキ 100部
 - 硬化剤JA-950 10部
- ポリカーボネートに印刷する場合は、SSP溶剤（標準、遅乾）またはPC特リターダーを使用してください。
- 可使時間は20°Cで約2～4時間です。
- HIPETインキは標準配合以外に、次のような配合でも使用できます。
 - 皮膜硬度重視配合
この配合では、硬度4H以上の非常に硬い皮膜が得られ、ハードコート材への印刷に適しています。しかし皮膜が脆くなりますので、接着性や後加工性が低下することがあります。
 - インキ 100部
 - 硬化剤JA-970 10～20部
 - 皮膜柔軟性重視配合
この配合では、柔軟性の非常に優れた皮膜が得られますが、耐溶剤性等の物性は若干低下します。
 - インキ 100部
 - 硬化剤JA-940 10～20部

刷版

メッシュ

250～300

硬化方法・硬化条件

- 100°C 30～120分
使用する硬化剤の種類によって、硬化時間は変動します。
事前に試験を行い、硬化時間を決めてください。

試験データ (環境・物性・耐候性・性能など)

条件

インキ配合	HIPET 9301白 100部 硬化剤JA-950 10部
印刷基材	PETフィルム
刷版	270メッシュ
乾燥条件	100°C 60分→1日常温放置

結果

試験項目	試験方法	結果
接着性	クロスカットセロテープ剥離試験	100/100
鉛筆硬度	手押し式 荷重750g	2H~3H
耐衝撃性	デュポン式衝撃試験 径1/2、荷重500g、高さ50cm	塗膜の割れ、剥離なし
耐摩耗性	学振式耐摩耗試験器、カナキン綿布3号 荷重500g 10,000往復	外観異状なし、接着性異状なし
耐アルコール性	エタノールラビング 荷重500g 50往復	異常なし
耐熱性	110°C 48時間	異常なし
耐寒性	-30°C 48時間	異常なし
耐アルカリ性	5%NaOH水溶液 24時間浸漬	表面白化
耐酸性	5%H ₂ SO ₄ 水溶液 24時間浸漬	異常なし



耐候性一覧

等級	色名
5	9305金赤
7	9300HLメジウム 9301HL白 9308HL赤
7-8	9313青黄 9314黄 9316HLピンク 9318紅 9325紫 9328オレンジ
8	9345HL濃藍 9346HL藍 9375グリーン 9390HL黒

- 有彩色をメジウムや白で薄めて印刷すると原色の場合よりも耐候性が大幅に低下します。

注意事項

- 硬化剤は湿気と反応するため、容器は常に蓋をしてください。
保管の際には密栓して冷暗所に保管してください。
- ご使用に際しての安全上の注意事項に関しては、製品の安全データシート（SDS）をご参照下さい。
- 当インフォメーションに記載されている内容は予告無しに変更・改訂する場合があります。
- この特性データは、弊社の実施した評価結果に基づくもので、お客さまのご使用時の製品特性を保証するものではありません。
- 使用の際は、実際に使用される装置及び被着材での評価結果に基づき、条件を十分ご検討の上、ご使用下さい。

